

## ■マンション防災の考え方

災害時の被害を最小限に抑えるために必要なのは、「自助」「共助」「公助」を組み合わせた3つの力です。発災害後、早い段階で「公助」がくることは期待できませんので「自助」「共助」で乗り切ることが大切になります。

### マンション防災の役割と備え「自助・共助」

実際にマンションでの防災対策をする際、誰が、何を、どれだけやればいいのか、経験したことがない人にはわからないことの方が多くはまずです。管理者や責任者がすべてやらなくてははいけないということはありません。

自分でできることは自分で、協力すべきことは協力するという役割分担を認識しましょう。

自助 共助

自助・共助の役割分担の例

	自分の命を自分で守ること (自助)	マンション内で協力して助け合うこと (共助)
水・食料備蓄	○	—
家具固定など、室内環境対策	○	—
安否確認(家族内)	○	—
安否確認(家族以外)	—	○
閉込め救助	○(家族)	○(居住者)
要援護者対応	○(家族)	○(居住者)
共用部環境改善(漏水対応・ゴミ対策)	—	○
行政情報収集(避難所・救援物資など)	○(一部)	○

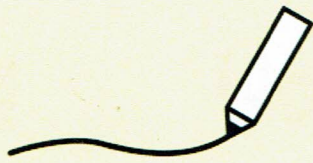
居住者にも共有し、日ごろから認識してもらうことが大切です。

### マンションの消防設備、どこにあるかご存知でしょうか？

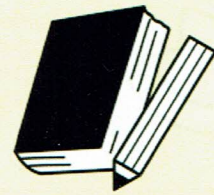
地震の二次被害として、「通電火災」があります。停電後に電気が復旧した際、破損したコードなどから漏電し火災になることがあります。停電中に自宅を離れる際にはブレーカーを落とし、電気が復旧した際には配線やコードが損傷していないか、燃えやすいものが近くにないかなど、十分に安全確認をしてからブレーカーを戻す必要があります。

火災が起きてしまった際には、迅速な消火活動ができるよう、日頃からマンションの消防用設備の設置場所や使い方などについて、居住者へ周知することが大切です。消防用設備とは、マンションに設置してある消火器や火災報知設備、消火活動に用いられる連結送水管などをいいます。防災訓練などを利用して、設置場所を案内したり、実際に使い方を確認したりするなどの啓蒙活動を行うのもよいでしょう。





# お役立ち情報



## マンションでの被災生活

### 見えない破損が引き起こす、意外な落とし穴？！

大地震が発生した後、水が使える場合でも排水管が損傷している場合があります。その状況で水を流してしまうと、ご自身の住戸だけでなく他の住戸で汚水が溢れたり逆流したりする可能性があります。排水管の無事が確認できるまでは、水は流さず、トイレの使用も控えることがマンションの資産価値を保つためにも大変重要です。お風呂や洗濯は我慢できてもトイレは限界がありますので、災害時のルールの周知とあわせて、マンション全体で非常用トイレの備蓄をお奨めします。

#### 【備蓄数の目安】

$$1人5回/日 \times \text{〇日} \times \text{人数} = \text{備蓄が必要なトイレの数}$$

### ■緊急対策用トイレ ベンリー袋コンパクトタイプ 20回分



内容	災害対策用トイレ20回分
重量・容量	重量：約570g 蓄便袋×20,便凝固剤×20,結束バンド×20
サイズ・寸法	保管寸法 : W210×D30×H300mm 袋の大きさ : 680×500 厚0.03mm

### ガラス破損は被災後、すぐに修理ができない場合も。

#### 防犯面でも役立つ、防災用品！

住戸やエントランス等のガラスが破損した場合、大きな災害時には修理までに時間がかかる可能性が高く、数か月破損したままの生活になります。その間はベニア板を貼るかビニールで養生するなどの対応が余儀なくされます。飛散防止フィルムが貼られているとガラスが飛散しにくいので、二次被害の防止だけでなく、修理までの間は防犯面でも安心です。

### ■ガラス飛散防止フィルム



内容	1枚
素材・材質	材質：高密度ポリエチレン
サイズ・寸法	サイズ=92×185cm

◆各種防災用品をこちらのサイトでご紹介しております。

<https://ec.midori-anzen.com/shop/customer/top.aspx?bzkey=02185021772>

\*ID・パスワードは、 [cc003987](#) と入力してください。



防災用品に関してのご相談は、弊社マンション担当者までお問い合わせください。



CommunityOne